

泥や汚れ

キャンディ ペダルは普通であれば泥や汚れに影響されることはありません。悪条件下ではシューズを前後からペダルに固定させると泥や汚れはペダルのゲージの隙間から落ちていきます。キャンディ ペダルの汚れを落とすのに高圧で水を噴射するような洗浄機は使用しないで下さい。

メンテナンス

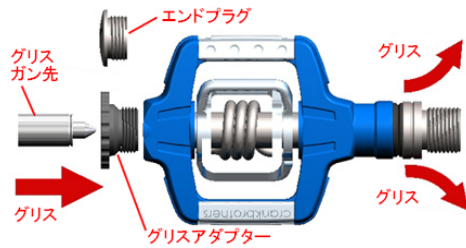
キャンディ ペダルはメンテナンスの必要がほとんどありません。通常の状態であればベアリングは防水で各ペダル部品は防錆処理がされています。ペダルの外装への注油は必要ありません。ほとんど場合ペダルに付いた汚れは勝手に落ちてしまします。ただ定期的にペダルの損傷や磨耗、ガタつきなどを確認して下さい。

クリート：

クリートは使用していくと磨耗し交換が必要になります。常にクリートの磨耗を確認するようにして下さい。もし不必要にクリートがペダルから外れてしまう場合(シューズの踵を捻ることなく) クリートが磨耗している印です。またシューズをペダルに固定したときに緩く感じるときもクリートが磨耗している印です。クリートはペダルボディ部品よりも柔らかい素材で作られています。これは意図的にクリートがペダルボディよりも先に磨耗するように設計しています。クリートは乗車のスタイルや状況にもよりますが、通常であれば乗車500時間使用できるように設計されています。

グリス交換の概要：

キャンディ ペダルは専用のグリスアダプターとグリスガンを使用して簡単に内部のグリス交換が可能です。ペダルの耐久性を最大限に引き出すには毎100～300時間ごとにグリス交換をするようにして下さい。雨、泥などの状況下はもっともペダルが消耗します。グリス交換をすることで古いグリスと汚れを流し出すことができます。グリス交換作業は各ペダル数分の短い時間で可能です。またグリス交換はペダルがクランクに取付けられた状態のままでも可能です。グリスは販売されている高品質なものを使用することをお勧めします。



-5-

グリス交換の方法：

1. ペダルが自転車に装着されている場合は自転車を寝かせて下さい。
2. ペダルのエンドブラグをマイナスドライバーで外して下さい。
3. グリスアダプターをペダル端面に指でねじ込んで下さい。
4. グリスガンの先端をグリスアダプターの中心にしっかりと押しつけてグリスを注入して下さい。古いグリスがペダルスピンドル側のペダルボディより出てきます。新しいグリスが出てくればグリス交換は完了です。出てきたグリスをきれいに拭き取って下さい。
5. グリスアダプターを外してエンドブラグを元に戻して下さい。

保証

クランクブラザーズ社のペダルは製品不良に関してご購入日から1年間保証します。保証はこの製品の修理、交換に限定されます。誤った使用での破損には適用されません。ご購入日の証明として販売店でのレシート、領収書等が必要になります。ご不明な点はご購入いただきました販売店へお問合せ下さい。

注意事項：ペダルを取付ける前、乗車前に必ずお読み下さい。

- ・ キャンディ ペダルの固定、開放の仕組みを理解してから乗車して下さい。片側の足を水平な場所に安定させてもう一方の足のシューズでペダルの固定、開放を両足それぞれで練習して下さい。
- ・ クリップレス ペダルに慣れている人も必ずペダルの固定、解放の練習をしましょう。

ペダルに慣れてから乗車しましょう。

- ・ クリップレス ペダルは自転車専用シューズが必要です。キャンディ ペダルのクリートは一般的なSPD2穴パターンのシューズに対応しています。キャンディ ペダルとシューズが干渉する場合はシューズの裏ソールの干渉する部分を削るもしくはクリートシムを使用して正しくクリートがペダルに固定されるように調整して下さい。備考：キャンディ ペダルに付属しているクリートはクランクブラザーズのその他ペダルと互換性があります。
- ・ キャンディペダルには、クランクブラザーズのクリートのみをご使用下さい。
- ・ クリートの磨耗状況を常に確認して下さい。磨耗している場合は速やかに交換して下さい。
- ・ クリートが正しく取付けされていないと膝を痛めることがあります。また個人差として左右の足の位置が対称でないこともありますので自分の体に合わせて左右のクリートの位置を調整して下さい。
- ・ キャンディペダルは他社製ペダルと比較してペダル高が低く設計されています。ペダル交換した際はサドル高を少し低くする必要がありますので合わせて確認して下さい。
- ・

ペダルの取付けや使用方法、メンテナンス等にご不明な点がございましたらご購入いただきました販売店へお問合せ下さい。自転車の乗る際は必ずヘルメットをかぶりましょう。また視界が悪い場所を乗車する際はヘッドライトとテールライトを使用しましょう。

-6-

ペダルの分解、再組立方法：

もしペダルスピンドルが緩く感じたり砂を噛んだような渋い状態になった場合はペダルの分解、再組立作業が必要です。オプションとして購入可能なリビルドキットを使用してペダルの分解、再組立が可能です。ブッシングやカートリッジベアリングの交換作業は比較的簡単です。必要な工具類は、6mm、8mm 6角レンチ、マイナスドライバー、8mmソケットレンチ、プラスドライバーです。その他にグリスと汚れなどを拭くウェスが必要です。グリスはグリスガンを使用すると簡単です。ご不明な点はペダルをご購入いただいた販売店へご相談ください。クリートが固定されるペダル ボディは再組立に専用工具が必要ですので分解しないで下さい。

ペダル スピンドルの分解作業

ステップ1：エンドブラグを外す。
幅広いマイナスドライバーを使用してペダルスピンドルのエンドブラグを外して下さい。
ステップ2：ペダルスピンドルのナットを外す。
6mmもしくは8mm 6角レンチをペダルスピンドル端面の凹みに入れて8mmソケットレンチでペダルスピンドルのナットを緩めて外します。
ステップ3：スピンドルを外す。
スピンドルをペダルボディより引き抜いてきれいなウェスの上に置いて下さい。
ステップ4：カートリッジベアリングを外す。
カートリッジベアリングをペダルボディより外して下さい。もしベアリングが簡単に外れない時は6角レンチ等を使用してペダルボディの中から押し出して下さい。

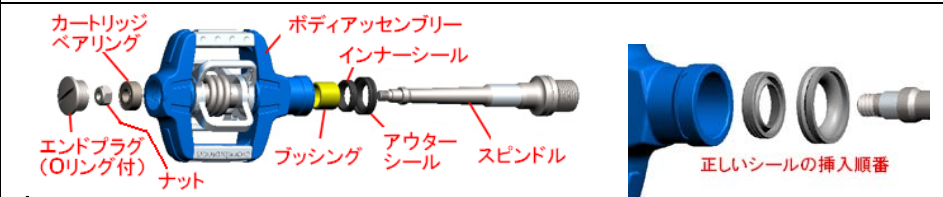


ステップ5：シールを外す。
ペダルボディ内のシールを外して下さい。
備考：ペダルボディ内のシールにはペダルボディにしっかりと圧入出来るように金属補強がされています。小さなマイナスドライバーを使用して外して下さい。

ステップ6：ブッシングを外す。
マイナスドライバーを使用してブッシングを外して下さい。ブッシングを外すにはマイナスドライバーをブッシングとペダルボディの隙間に押し込んで引き出す必要があります。もしブッシングが外れにくい場合は写真のようにドライバーで作った隙間にプライヤーを押し込んで摘み出してください。まだブッシングが外れない場合はブッシング自体をドライバー等で割って外して下さい。防護メガネを装着して作業をして下さい。ペダルブッシングが圧入されているボディ内部に傷を付けないように作業をして下さい。

ステップ7：パーツをきれいにする。
きれいなウェスやペーパータオルを使用してペダルボディ内部、スピンドル、エンドブラグについている汚れたグリスを拭いて下さい。

-7-



ペダルスピンドルの組立作業

ステップ1：カートリッジベアリングの取付け。
新しいカートリッジベアリングをボディアッセンブリーに圧入します。
ステップ2：ブッシングの取付け。
新しいブッシングをボディに挿入します。ボディの奥まで挿入していることを確認して下さい。
ステップ3：シールの取付け。
ボディにインナーシールの小さな淵が外側を向く様に挿入して下さい。スピンドルにアウターシールを挿入して下さい。
ステップ4：グリスを塗布。
オプション1：グリスをネジ部分以外のボディに挿入されるスピンドル表面に塗布して下さい。
オプション2：グリスガンとキャンディ用のグリスポートアダプターをお持ちであればペダル組立作業後にグリスを注入することができます。(ページ6参照)
ステップ5：スピンドルの取付け。
スピンドルをボディアッセンブリーに挿入して下さい。シールが正しい方向であること、ボディとスピンドルに挟まっていないことを確認して下さい。

ステップ6：ナットの取付け。
8mmソケットと6または8mm 6角レンチを使用してスピンドルにナットを固定して下さい。
締め込みトルク値：3.5Nm (30インチ/ポンド) 注意：ナットは正しい締め込みトルクで固定されている必要があります。締め込みトルクが緩いと走行中にスピンドルがボディから抜けて思わぬ怪我をすることがあります。

ステップ7：エンドブラグの取付け。
マイナスドライバーを使用してエンドブラグを取付けて下さい。Oリングがボディから飛び出していないことを確認して下さい。

お問合せ、ご購入は、ペダルをお買い上げいただいた販売店へお問合せ下さい。



-8-

仕 様

キャンディ ペダルは両面踏み、4 面エントリーのペダルです。
このペダルは他社ペダルには無いいくつかのシューズ固定方法があります。
さらにキャンディ ペダルは軽量で泥詰まりに強く丈夫で角度 6 度の
クリート遊びがありメンテナンスも簡単です。

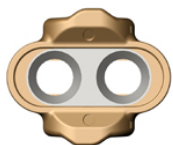
ペダルの取付け方法

キャンディ ペダルのスピンドル(ペダル軸)端面には 8 mm 6 角レンチ用の凹みがあります。右側ペダルは
時計回りにペダル軸を回してクランクに取付けます。左側ペダルは時計反対回りにペダル軸を回してクランクに取付けま
す。目印として左側スピンドルの淵に小さな溝があります。右側ペダルには目印はありません。
ペダル軸のねじ山にグリスを塗布後に 8 mm 6 角レンチを使用して締め付けトルク値 2 5 ~ 3 0 f t / ポンド
または 3 4 ~ 4 1 N m でクランクに取付けて下さい。

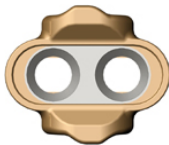
クリート取付けと調整方法

キャンディ ペダル用クリートは一般的なシマノ SPD 対応シューズに適用して
います。クリートには上下の区別はありません。ただ左右の違いでシューズの
ペダルからの開放角度が変化します。ロードシューズ用のクリートもオプション
販売されています。

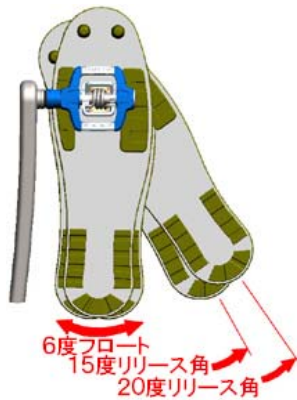
丸印付きクリート を右側シューズに取付けると両シューズの開放角度は 1 5 度
になります。
丸印付きクリート を左側シューズに取付けると両シューズの開放角度は 2 0 度
になります。



丸印付きクリート



無印クリート



Candy 4Ti Rev A -1-

シューズのペダルへの固定方法

キャンディ ペダルにはいくつかの固定オプションがあります。いずれのオプションでもクリートがペダルゲージを押し広
げるだけの力が必要です。クリートがペダルに固定されたときには“カチッ”とクリック音がします。クリートがペダルに
固定されていることを確認するにはシューズを前方に引き上げて下さい。

固定オプション 1 :

シューズのクリート部分をペダルに前方に踏み込んで下さい。



固定オプション 2 :

シューズのクリート部分をペダルの後方へ踏み込んで下さい。
次にシューズを前方に向かってずらしてペダルゲージを
回転させてクリートを固定して下さい。



ペダルゲージを回転
させてクリートを固定

固定オプション 3 :

シューズのクリート部分をペダルの前方に踏み込んで下さい。
次にシューズを後方に向かって引いてずらしてペダルゲージを
回転させてクリートを固定して下さい。通常、ペダルを踏み込む
動作の時にペダルゲージを回転させるには簡単です。



ペダルゲージを回転
させてクリートを固定

これら固定オプションは練習が必要です。片側の足を水平な場所
に安定させてもう一方の足のシューズをペダルに固定、開放させて
練習して下さい。クリップレス ペダルに慣れている人も必ずペダル
の固定、解放の練習をしましょう。オフロード走行などに出かける
前には固定、開放に慣れておきましょう。

クリートリリース解説: 丸印付きクリート を右側シューズに取付けるとシューズの踵を外側に 1 5 度、内側に 2 0 度捻る
とシューズはペダルから開放(リリース)されます。丸印なしクリート を右側シューズに取付けた場合はその反対になりま
す。シューズの踵を外側に 2 0 度、内側に 1 5 度捻るとシューズはペダルから開放(リリース)されます。クリートの形状は
左右対称になっていますので両足のリリース角度は同じになります。

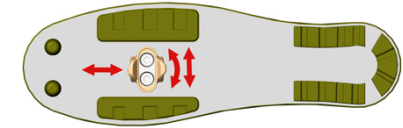
クリップレス ペダルに慣れていない初心者は丸印付きクリート を右側シューズに付けることをお勧めします。

ステップ 1 :

クリート をシューズ裏面のクリート取付け穴の上に置いてクリートベースを通して取付けボルトを固定して下さい。取付け
ボルトを締め付けトルク値、4 ~ 5 N m または 4 0 ~ 5 0 インチ/ポンドで固定して下さい。

備考: クリートの取付け位置と角度は最適な固定位置を決めるために微調整が可能です。最適な固定位置を決めるまで数回
は微調整が必要になることがあります。

備考: 付属しているクリート取付けボルトには長さが
長いボルトが 4 本、短いボルトが 4 本あります。
クリートを取付けるシューズに最も合う長さのボルトを
選択して下さい。取付けボルトは最低限ねじ山が
3 回転ねじ込まれて固定されていることを確認して下さい。



ステップ 2 :

片側の足を水平な場所に安定させてもう一方の足のシューズをペダルに固定して下さい。ペダルに固定したシューズを数回
捻ってペダルとの遊びを感じて下さい。ほとんど人が感じる最適なクリート位置というのはペダルの固定スプリングに
クリートが抵抗を感じることがなくペダリングできる位置です。クリートが最適な位置に取付けられているとペダリング時
にシューズに数度の遊びを感じることができます。シューズの踵を外側に捻ってペダルから開放して下さい。ペダルから
シューズを開放するには踵を捻る必要がありますので慣れるまでこの動作を練習して下さい。

ステップ 3 :

クリートが正しい位置にないときは固定ボルトを緩めてクリートの位置を調整して下さい。固定ボルトを締め込んでステッ
プ 2 を繰り返して下さい。

スプリングテンション

一般的なクリップレス ペダルでは、もしスプリングテンションが弱くと簡単にペダルからシューズが開放されると同時に
不意の動作で開放されてしまうことがあります。またもしスプリングテンションが強くとシューズはペダルに固定も開放も
難しくなります。

キャンディ ペダルの独自規格はこのスプリングテンション調整を不要にしました。クリートのペダルへの保持力は
スプリングテンションに関係していません。クリートに馴染みが出るとペダルへの固定と開放がさらに簡単になります。

candy 4Ti instructions

シューズをペダルから開放

シューズの踵を外側に捻ることによってペダルから開放することができます。また踵を内側に捻っても開放することができ
ますがこの方法はお勧めしません。踵を外側に捻って開放する方法が簡単で安全です。もし踵を内側に捻って開放する方
法を選ぶ場合は左側シューズに丸印付きクリートを取付けることをお勧めします。

シューズ裏ソールの干渉 (ペダル固定、開放が難しい場合)

シューズによっては裏ソールが通常のシューズよりも高さが高くペダルと干渉してキャンディ ペダルの固定、開放がしに
くいシューズがあります。もしシューズ裏ソールとペダルの干渉がある場合はシムを使用して下さい。シューズ裏ソールが
軽くペダルに接触している状態が理想です。この軽く接触している状態がペダルの固定、開放動作を安定させます。

シューズを足に履かずに手に持ってペダルとシューズ裏ソールの隙間を確認しながらペダルに固定して下さい。もしペダル
がシューズ裏ソールに干渉している場合はペダルの固定、開放がしにくいです。このときシムを使用する方法とシューズ裏
ソールをカッターナイフ等で干渉している部分を除去する方法のどちらかで対応して下さい。

もしシューズ裏ソールの干渉している部分を除去する方法を選んだ場合は電動サンダーまたはカッターナイフを使うことを
お勧めします。作業は防塵メガネ等を使用して行って下さい。干渉部分は少しずつ除去してペダルとの隙間を確認して下
さい。シムを 2 枚重ね等で余分に必要の場合はオプションとして販売していますのでペダルをお買い上げいただいた販売店へ
ご相談下さい。

シムを使用する場合はクリートを固定しているボルトを外してクリートとシューズの間に挟んで再固定して下さい。
備考: シムを使用する場合は付属の長い取付けボルトを使用して下さい。

シューズ裏ソールとペダルが干渉していない場合はシムを使用しないで下さい。
不必要に使用するとシューズはペダル上で不安定になります。
ほとんどのシューズの裏ソールはキャンディ ペダルと干渉することはありません。

また丸印付きクリート が右側シューズに取付けられていることを確認して下さい。
このときシューズの踵を外側に捻った角度は浅い 1 5 度でペダルからシューズが
開放されます。

推奨乗車体重: 8 4 k g。

キャンディ 4 T i ペダルは高品質の 6 A 1 / 4 V チタン合金製スピンドルを使用しています。
チタン合金は焼入れされたスチール製スピンドルほどの剛性はありません。このキャンディ 4 T i ペダルが用途や乗車ス
タイルに合っているかの判断をしてご使用下さい。ペダルをご購入後 2 年以内にチタン スピンドルを破損させた場合はペ
ダル重量は 4 8 g (ペア) 増えますが強度のあるスチール スピンドルに交換することをお勧めします。

